

日赤なごや

VOL.

86

AUTUMN
2024

Medical Frontier

第四小児科部長

吉田 奈央 医師

Professional Style

がん性疼痛看護認定看護師

尾関 美代子 係長

栄養のいろは

フレイル予防

登録医療機関紹介

かかりつけ医をもちましょう



ふれあい
通信

お知らせ

- 内視鏡治療ハンズオンセミナー開催について
- 第15回中村日赤ふれ愛まつりを開催しました
- 診察室移転のお知らせ

イベント
掲示板

- がん相談支援センターをご利用ください
- がんサロン「コスモス」開催のご案内
- ピアサポーターに相談してみませんか
- なかむら健やかゼミナールを開催します
- 赤十字健康教室を開催します

LINE 公式アカウント

友だち募集中
@849hfwnb

LINEの「友だち追加」
から、ID検索するか
QRコードをスキャン
してください



人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.



日本赤十字社

日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

- 地域医療支援病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 救命救急センター
- 総合周産期母子医療センター
- 地域中核災害医療センター
- 造血幹細胞移植推進拠点病院





未来の人生につなぐ治療とケア。
日本を代表する小児医療機関として、
子どもたちを病気から守ります。

発症例が少なく種類が多い小児がん、 その多くが治る時代に入りました。

「小児がん」は、0～14歳で発症する悪性腫瘍の総称です。最も多いのは白血病、次に脳腫瘍、そしてリンパ腫と続きます。成人がんが年間に100万人発症するのに比べて小児がんは2,000～2,500人と少ないに関わらず、種類が多いことが特徴です。発熱や咳、手足の痛みなど風邪のような症状が続くことから受診し、小児がんと診断されるケースが多く見られます。

小児がんは成人がんのような生活習慣との関連が見られず、多くは成長に関連して発症します。急性リンパ性白血病はリンパ組織である扁桃が大きくなる幼児期、骨肉腫は骨が成長する時期に多く発症。そして、本来、胎児期に体の一部になるはずだった細胞が残ってしまい発症する神経芽腫や肝芽腫など、芽腫と呼ばれる子ども特有のがんは乳幼児期に多く見られます。

近年、急性白血病は遺伝子異常の違いなど、白血病細胞の性質によって治りやすさに差があると分かってきました。そのため治りやすいタイプには少ない治療で合併症を減らし、手ごわいタイプには治療を強化して再発を抑える

というように、リスクに合わせた層別化治療を用いています。また、ゲノム医療^{※1}の発展や新規薬剤の開発によって小児がんの治療成績は向上。約80%の患者さんに治癒が期待できる時代になりました。

国内トップレベルを誇る、 小児造血細胞移植施設

造血細胞移植は前処置と呼ばれる化学療法や全身放射線照射を行ったあと、健康なドナーから提供される造血幹細胞を輸注し造血や免疫を再構築する治療です。当院では1982年から小児に対し実施しており、累計移植件数は国内有数の750件を超えます。化学療法だけでは治癒が難しい白血病に加え、再生不良性貧血やムコ多糖症などの非悪性疾患への移植も数多く行い、全国からの紹介を受け入れています。2013年からは造血幹細胞移植推進拠点病院に認定され、人材育成などを通し東海地区の移植医療提供体制の整備に努めています。

した。晩期合併症は早期に発見し適切に治療介入することが大切です。そのため多くの診療科と連携し、多職種チームで長期のフォローアップを行っています。最近では慢性GVHD^{※2}に対する体外フォトフェレーシス治療を小児診療科としては国内で初めて開始しました。

入院中の子どもには、治療だけでなく心と体の成長も大切です。保育士との遊びや院内学級などを通して日常生活に近づくよう環境整備に努めています。病棟内で催すハロウィンなど季節の行事には医師も参加し、子どもたちとの交流を大事にしています。最近では「将来この病院で働きたい」という希望を実現する小児がん経験者もいます。

今後も小児がんを経験した子どもたちが安心して社会に出られるよう、未来を守る医療に取り組み、子どもたちの成長に長く寄り添います。

※1 遺伝子情報(ゲノム)を羅列的に調べ病気の診断や治療を行う医療

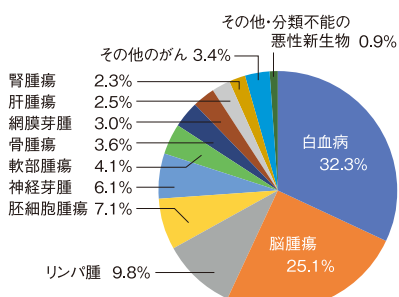
※2 ドナー由来の細胞が患者の体を他人と認識して起こす免疫反応(移植片対宿主病)

多職種によるチーム医療で 「命を守る」から「未来を守る」治療へ。

小児がんの多くに治癒が実現する一方、強力な治療や長期入院が成長発達過程の子どもに与える影響は少なくありません。これまでは命を守る治療が優先されてきましたが、病気克服後に生じる身体的・心理社会的な問題をできる限り減らす取り組みが求められています。当科で開発された強度減弱前処置を用いる移植法は、成長障害や不妊など晩期合併症の軽減を目指して全国で使用されるようになりま



日本の小児がん内訳



「国立がん研究センターがん情報サービス」より



患者さんご家族が大切にしていることを尊重し、より良く生活できるよう支援しています。

様々なつらさを抱えた患者さんとご家族をサポートします。

緩和ケアセンターは病気を治す場所ではなく、病気と共に歩むところであり、生活の場所となるところです。肉体的な苦痛を取り除くための治療を行うだけではありません。精神的な苦痛、孤独感、不安、死への恐怖などを軽減し、患者さんと生きる意義を考えつつ、最期までその人らしく尊厳をもって、ご家族と共に快適な生活が送れるように援助していくところです。そのため、さまざまな医療スタッフとボランティアがチームを組んでお手伝いしています。

病気はがんに限りません。心不全、呼吸不全などの慢性疾患の患者さんも対象としています。私たちが大事にしていることは「患者さんご家族が大切にしていることは何か」です。また、大切な方を亡くされたご家族の支援も行っています。

緩和ケアは治療ができなくなった方への医療ではありません。病気と診断されたときから治療と共にいつでも受けられます。緩和ケアセンターだけでなく一般病棟でも外来でも、在宅でも受けるこ

とができます。どのような状況であっても、できる限り自分らしい生活を続けていくために、身近な医療者やご家族に自分の気持ちを伝え、どのような治療を受けるのか、どこで緩和ケアを受けるのか、大切な人と一緒に考えることが大事です。その療養の場所の一つとして緩和ケアセンターは存在しています。

「元気をもらいました」の言葉と笑顔に励まされる日々です。

緩和ケアセンターには寝たまま入ることができるお風呂があります。久しぶりに入浴し「気持ちいい～」という患者さんの声を聞いたり気持ちよさそうなお顔を見たりすると「お手伝いをしたい」と思います。喉の渇きを潤すかき氷も人気ですよ。

「あなたが来てくれると、ほっとする」、「元気をもらえました」、「話を聞いてくれてありがとう」。こういった言葉をかけていただけたときは、心からうれしく思います。

また、可能な限り自宅に近い環境をつくれるようにしています。病室の窓から入る風を受けたり、日が昇り沈む一日の流れを感じたり、庭園で季節の植物を見た

りできます。みなさん、そんな風景に心をゆだねて落ち着く時間をとっていらっしやいます。

病気と診断されたときに緩和ケアを選択肢のひとつにしてほしい。

がん性疼痛看護認定看護師は、患者さんの痛みをさまざまな角度からとらえ鎮痛の方法を提案、実施します。私は看護師になって23年。仕事を続けていくなかで、自分自身に自信がもてるものを習得したいと思いました。これまで多くのがん患者さんに触れてきましたが、苦しみをコントロールしてあげられなかったときには、不甲斐なさを感じました。そこでもっと専門性をもって柔軟に対応できるようになりたいと思い、がん性疼痛看護認定看護師の資格を取得しました。患者さんやご家族から学ぶことは多く、日々勉強させていただいています。

これから先、人生を誰とどこでどう過ごすか。自由に誰にでも話せる世の中になってほしい。そのためには緩和ケアをたくさんの方々に知っていただけるよう、活動していきたいと思っています。

栄養のいろは

・第12回・フレイル予防

フレイルとは、加齢に伴って身体や心の機能が低下することにより、様々な健康障害に陥りやすい状態のことを指します。活動量や身体機能、体重、筋力の低下、疲労感の増加が特徴です。

フレイルを予防・改善するためには、「身体活動」と「社会参加(就労・余暇活動・ボランティア等)」と「バランスの良い食事」が勧められています。

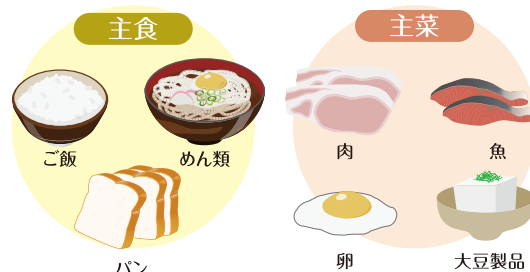
その中でも重要なのは、「バランスの良い食事」特に主食と主菜の積極的な摂取です。

主食(炭水化物)は、日常的に活動するためのエネルギー源であり、体力・体重の維持のために非常に重要です。今が旬のさつまいもや栗も、炭水化物に分類されます。しかし過剰な摂取は肥満や生活習慣病の原因となるため、適量の摂取がおすすめです。

次に主菜(蛋白質)です。筋肉や臓器の修復・成長をサポートします。筋力低下を防ぐために重要です。秋が旬の鮭や秋刀魚も主菜の1つです。

また秋は涼しい気候に恵まれ、運動も楽しみやすい季節です。心と身体をリフレッシュするために、ウォーキングや軽いジョギング、ストレッチを日常に取り入れるのもおすすめです。

いつまでも元気で過ごすため、この機会にフレイル予防を始めてみてはいかがでしょうか。





7/5

内視鏡治療ハンズオンセミナー開催について

TOPICS 1

2024年7月5日、若手の医師を対象に、内視鏡治療ハンズオンセミナーを、内視鏡センターで開催いたしました。金曜日の午後という忙しい中、15名の研修医や学生さんに参加いただき、大盛況でした。

早期胃癌や早期大腸癌に対して行う内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を、ブタの胃に対して、実際に内視鏡で切除する体験ブースと、総胆管結石を採石する際に行う内視鏡的乳頭切開術(EST)を人工乳頭モデルに対して、実際に内視鏡で切開する体験ブースを用意しました。普段内視鏡に触れる機会のない医師にとっては貴重な体験になったと思います。これをきっかけに、消化器内科(内視鏡医)を志す医師が一人でもいられれば、開催者としてこれ以上の喜びはありません。

今後もハンズオンを定例行事として行っていきます。

次回は冬に開催予定です。内視鏡に触れる体験ができる絶好の機会ですので、研修医をはじめ、皆様のご参加をお待ちしています。

内視鏡センター副センター長 藤吉 俊尚



9/14

今年も病院祭を開催しました!!
第15回中村日赤ふれ愛まつり

TOPICS 2

令和6年9月14日(土)、「第15回中村日赤ふれ愛まつり」を開催いたしました。

屋内の特設ステージでは、ヴァイオリンリサイタル、紙芝居、ホスピタル・クラウンによるパフォーマンスや、地元商店街の皆様によるじゃんけん大会等で大いに盛り上がりました。

その他、健康状態や体力などについて測定・相談できるコーナー、ピンクリボンコーナーやゴールドリボンコーナー、医療機器の操作を体験できるコーナー、恒例の似顔絵コーナーも設けました。屋外会場では実際の献血バスを使った「まねっこ献血」がお子さんたちに大人気で、赤十字の制服を試着しての記念撮影も楽しんでいただきました。

残暑厳しい中にもかかわらず、約1,500人もの方々にご来場いただき、職員一同心より御礼申し上げます。





お知らせ

Information

診察室移転のお知らせ

内分泌内科・血液内科外来は2024年8月13日から、西棟3階35番ブロックに移転しております。よろしくお願いいたします。



3階



掲示板

がん相談支援センターをご利用ください

がんに関する様々な悩みごとについて、専門の相談員がお話を伺います。お気軽にご利用ください。

相談時間 平日8:50~17:20
(12月29日~1月3日、5月1日を除く)

場所 相談支援センター1階

がんサロン「コスモス」開催のご案内

がんによる悩みや不安を自由に語り合う場、がんサロン「コスモス」を開催します。ぜひご参加ください。

開催日 毎月第4火曜日

時間 14:00~15:30

場所 管理棟3階 会議室3



ピアサポーターに相談してみませんか

「名古屋市 がん相談・情報サロン ピアネット」で相談対応に実績のあるピアサポーター(がん体験者や家族)による出張相談です。ぜひご参加ください。

開催日 毎月第2木曜日

時間 10:00~12:00

場所 西棟1階
ホスピタルモール横

なかむら健やかゼミナールを開催します

開催日 10月5日(土)

時間 14:00~
15:00

テーマ 「乳がんの歴史
と食生活」

場所 東棟2階
内ヶ島講堂

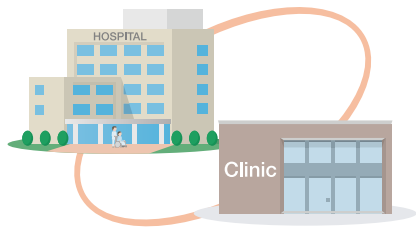
赤十字健康教室を開催します

開催日 11月15日(金)

時間 14:00~
16:00

テーマ 「糖尿病」

場所 東棟2階
内ヶ島講堂



登録医療機関紹介

かかりつけ医をもちましょう

いわた血管外科クリニック

住 所

〒450-0002
名古屋市中村区名駅4-1-3
クリスタルMAビル9F

電話番号 052-566-0013

診療科目 血管外科

休 診 日 木曜日、日曜日、祝日

診療時間 9:00～12:00(手術)、14:00～18:00(診察) 要予約



院 長 岩田 博英

専門分野 血管外科

当院では、下肢静脈瘤の最新の治療を安全に、確かな技術と深い経験をもって提供いたします。レーザーの手術は日帰りで行うことができ、保険も適用。手術だけでなく、クモの巣状静脈瘤の硬化療法(保険適用)、ヤグレーザー照射(保険適用外)も行っています。2020年より、保険適応となったグルー(医療用接着剤による)治療も開始し、従来のレーザーより痛みも軽減され、治療方法の選択肢が広がりました。足に静脈こぶのある方、足がむくみやすい、だるい、疲れやすい、足の静脈が浮いて見える方など、気になる方はお気軽に御紹介ください。

ホームページ



メディカル
掲載ページ



上記は2024年9月1日時点の情報です。

医療法人富士会 藤岡医院

住 所

〒453-0044
名古屋市中村区鳥居通5-20

電話番号 052-471-1451

診療科目 内科

休 診 日 水曜日午前、土曜日午後、日曜日、祝日

診療時間 9:00～12:00、17:00～19:00



院 長 藤岡 恒之

専門分野 消化器内科

当院は中村区赤坂から徒歩約5分の内科のクリニックです。地域で身近に相談できるかかりつけ医として風邪などの急性疾患から高血圧や糖尿病などの生活習慣病の管理まで、幅広く内科疾患全般にわたり対応しています。早期発見、早期治療を心がけ、必要に応じて適切に日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院さんへご紹介、連携させていただいております。また、その人らしく過ごせる医療を目指し、在宅での訪問診療や介護支援にも取り組んでおります。わからないことなどあればお気軽にご相談ください。一緒に考えていきましょう。各種予防接種、健診なども行っておりますのでお問い合わせください。

ホームページ



メディカル
掲載ページ



上記は2024年9月1日時点の情報です。

西口整形外科

住 所

〒454-0971
名古屋市中川区富田町
千音寺間渡里2883

電話番号 052-432-3003

診療科目 整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科

専門分野 整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科

休 診 日 土曜日午後、日曜日、祝日

診療時間 9:00～12:00、16:30～19:30



院 長 西口 健二郎

地域に密着した、医療・福祉を目指して
西口整形外科では、首・肩・腰・膝・手・足の痛みや動かしにくさ・骨折・ケガ・骨粗しょう症・リウマチ・痛風・物忘れ・認知症・交通事故・労災等の治療を行っています。専門の知識を持った医師と理学療法士が協力し、状態に合わせた運動器リハビリテーションを中心に行っています。介護保険が適用になる場合でも介護サービス事業所(老健・デイケア・デイサービス・グループホーム・居宅介護支援事業所)を併設しており、速やかに連携を取っております。

ホームページ



メディカル
掲載ページ



上記は2024年9月1日時点の情報です。

名古屋 循環器科・内科

住 所

〒450-0002
名古屋市中村区名駅2-45-7
松岡ビルディング4F

電話番号 052-533-1441

診療科目 循環器内科、内科

休 診 日 水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

診療時間 [月～土]9:30～13:30、[月火木金]15:30～19:00



院 長 吉田 哲

専門分野 循環器内科

名古屋循環器科・内科は地下鉄名古屋駅①番出口ビル内(松岡ビルディング4F)に位置します。名古屋循環器科・内科ではメタボリックシンドローム・不整脈・狭心症、心臓弁膜症の精密検査(頸動脈エコー・心エコー・ホルター心電図・運動負荷心電図)および治療に力を入れています。健康診断で異常を指摘された方、ご相談ください。また、健康診断、心臓ドック、予防注射、禁煙治療なども行っています。

ホームページ



メディカル
掲載ページ



上記は2024年9月1日時点の情報です。

市民の皆さんが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるようにするために医療や介護などを一体的に考える「地域包括ケアシステム」というものがあります。そして当院は「地域医療支援病院」かつ「高次機能病院」としての責務を果たすため市民の皆さんの急性期医療を担っています。地域包括ケアシステムを完成させるには市民の皆さんの日常の医療に関するフォローの役割を担う「かかりつけ医」との連携が非常に重要です。当院では多くの医療機関と「登録医師・登録歯科医師」としての連携を結んでいます。ここでは「かかりつけ医」の診療所をご紹介します。

かかりつけ医

日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

日ごろの健康管理
専門的な治療が
必要なら当院へ紹介

紹介

高度医療・専門医療
病状が安定したら再び
「かかりつけ医」へ

逆紹介

名古屋整形外科 人工関節 クリニック



住 所

〒481-0011 北名古屋市中区高田寺一本橋7

電話番号 0568-22-7772

院 長 北村 伸二

診療科目 整形外科、リウマチ科

専門分野 整形外科

休 診 日 木曜日午後、土曜日午後、日曜日

診療時間 9:00～11:30、14:30～18:00

整形外科専門の有床診療所です。膝関節・股関節の人工関節手術を専門に年間約650件行っています。術後入院期間は平均10日程度にて退院可能となります。理学療法士が20名程度在籍しており、変形性関節症だけでなく腰痛疾患やsports傷害などのリハビリテーションも積極的に対応しています。さらにリウマチ専門医（日本リウマチ学会認定）、認定スポーツ医（日本整形外科学会認定）も在籍し専門的な治療を行っています。

ホームページ



メディカル
掲載ページ



上記は2024年9月1日時点の情報です。

富田クリニック



住 所

〒454-0957
名古屋市中川区
かの里2丁目504

電話番号 052-301-1212

院 長 伊藤 正博

診療科目 内科、外科、皮膚科、整形外科、小児科
泌尿器科、リハビリテーション科

専門分野 内科・外科

休 診 日 木曜日、日曜日、祝日

診療時間 [月火水金] 9:00～11:30、17:00～19:00
[土] 9:00～11:30、14:00～17:00

富田病院での38年間に渡る地域の人達との繋がりを大切にし、子供からお年寄りまで安心して受診、相談できる地域医療を目指します。地域の総合医であり、総合病院の専門医への窓口係であり、日常の健康保持、予防医学の相談係であることをスタッフ一同目指していきます。

ホームページ



メディカル
掲載ページ



上記は2024年9月1日時点の情報です。

医療法人慈幸会

こもと整形外科



住 所

〒454-0871
名古屋市中川区柳森町1703

電話番号 052-369-2233

院 長 佐藤 義郎

診療科目 整形外科、リハビリテーション科

専門分野 整形外科

休 診 日 木曜日、土曜日午後、日曜日、祝日

診療時間 9:00～12:00、16:00～19:00

当院は、整形外科・リハビリテーション科、リウマチ科のクリニックです。整形外科専門医として痛み等を伴う運動器疾患や関節リウマチを中心に診療しています。特に脊椎、上下肢の運動障害に対する機能障害を回復、緩和し快適な生活を送ることを目指し運動器リハビリテーションに力を入れており、介護保険による通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションも行っています。地域の皆さんに親しまれ、信頼されるホームドクターを目指して、患者様が安心して生活できるように、患者様の気持ちに寄り添う医療の提供を心がけスタッフ一同努めています。

ホームページ



メディカル
掲載ページ



上記は2024年9月1日時点の情報です。

ひおき歯科



住 所

〒490-1115
あま市牧坂塩20

電話番号 052-443-0711

院 長 日置 義照

診療科目 一般歯科、小児歯科

専門分野 歯科補綴、小児歯科

休 診 日 木曜日、日曜日、祝日

診療時間 8:00～13:00、15:00～18:00

「相談しやすい歯科医院になる」を理念に歯科診療に努めております。歯科医院には怖いイメージをお持ちの方が多くみえます。少しでもご不安を無くすように心がけ、来院される方に合わせたご提案をさせていただきます。経験豊富な院長をはじめ、咬み合わせ治療を得意とする副院長、小児歯科博士号取得女性歯科医師、矯正専門医（日本矯正歯科学会認定）によるチーム歯科医療を行っています。訪問歯科診療、病院と連携を図り手術前の口腔ケアにも対応しております。歯科衛生士も5名在籍しており、歯周病治療や口腔機能指導、定期検診による口腔内の健康維持などを担当しております。また、保育士も常駐しており、幅広い年代の方にご来院いただきやすく、様々なご相談に対応出来るような医院体制を整えております。インターネットを利用したご予約も可能ですので、お困りの際には当院HPよりご覧いただければ幸いです。「痛くない・怖くない」診療をモットーに対応させていただきます。

ホームページ



メディカル
掲載ページ



上記は2024年9月1日時点の情報です。

外来診療担当医表

診療科目		月	火	水	木	金	
内科	血液	後藤辰徳	西田徹也	西田徹也	竹内裕貴	加賀谷裕介	
		加賀谷裕介	福岡翔	後藤辰徳	内藤知希	石際康平	
		PM中谷記衣	PM竹内裕貴	田原玄寛	PM中谷記衣	PM西田徹也	
		PM田原玄寛	PM宇野友梨	PM内藤知希	—	PM福岡翔	
		—	—	PM河本知大 PM宇野友梨	—	—	
	内分泌	清田篤志	林祐里	尾崎信曉	林祐里	清田篤志	
		吉田薫	吉田詢	—	吉田薫	吉田詢	
	腎臓	安田香	伊藤駿	杉浦琢也	尾関俊和	横江優貴	
	脳神経	新患	(交代)	大河内建	第1・3・5長谷川智哉/ 第2・4週 鶴岡陽一	伊藤理樹	片岡真由美
		再診	渡邊はづき	伊藤理樹	後藤洋二	渡邊はづき	後藤洋二
		鵜飼陽一	長谷川智哉	片岡真由美	大河内建	安藤孝志	
循環器	新患	近藤史朗	小出浩史	竹本賢人	足立健太郎	古田翔太郎	
	再診	嶋野祐之	嶋野祐之	柴田義久	安田健一郎	柴田義久	
		PM荻野集己	PM宮本駿	—	—	—	
科	呼吸器	新患	横山俊彦	竹山佳宏	小玉勇太	稲垣雅康	安藤守恭/ 廣島正雄
			AM伊藤亮太/ PM(交代)	廣島正雄	稲垣雅康	横山俊彦	小玉勇太
		再診	—	安藤守恭	吉田健太	竹山佳宏	AM横山俊彦/ PM吉田健太
	消化器		土居崎正雄	山口丈夫	驚見肇	山口丈夫	土居崎正雄
		AM驚見肇/ PM吉岡直輝	三島茉莉	AM市川毅留/ PM丸川高弘	藤吉俊尚	丸川高弘	
		川瀬祐	原啓文	AM藤吉俊尚/ PM川瀬祐	AM伊藤優理子/ PM亀島俊太郎	AM原啓文/ PM市川毅留	
		AM亀島俊太郎/ PM伊藤優理子	—	山口皓史	PM吉岡直輝	—	
	総合診療	宮川慶	—	宮川慶	PM榊葉誠	—	
	小児科	午後前	福見大地	濱麻人	大城誠	福見大地	竹内智哉
			大瀧悠嗣	西門優一	前村遼	北澤宏展	三井さやか
大竹輝			田中雅大	成瀬創太	片山美花	立花貴史	
島田茉莉			相川拓哉	—	—	竹田早織	
アレルギー		—	—	牧野篤司	岩脇由希子	—	
午後(専門外来)		循環器	三井さやか	—	—	福見大地	—
		血液	—	濱麻人	PM土居崎小夜子	吉田奈央	(交代)
		神経	—	—	竹内智哉	田中雅大	(交代)
		腎臓	—	渥美愛/ 多田篤史	—	—	—
		新生児発達	竹内陽平	中山淳	近藤真生	齊藤明子	大城誠
		杉山裕一郎	神原紀香	—	—	—	
	予防接種	(交代)	(交代)	—	—	—	
	乳児健診	—	—	(交代)	—	(交代)	
	小児内分泌	—	—	西門優一	—	西門優一	
アレルギー	牧野篤司	—	—	—	—		
●予防接種・乳児健診は10日前までにご予約ください。詳しくは受付にお問い合わせください。							
外科	一般消化器外科	三宅秀夫	吉岡裕一郎	三宅秀夫	三宅秀夫	三宅秀夫	
		浅井周平	柴田耕治	小林龍太郎	永井英雅	川合亮佑	
		永井英雅	後藤亮太郎	河合奈津子	若尾聖	—	
	乳腺外科	岩瀬拓士	乳腺初診 (病診予約)	後藤康友	後藤康友	角田伸行	
		AM照屋なつき/ PM(乳腺再診)	AM角田伸行/ PM加藤明子	照屋なつき	乳腺再診	乳腺初診・再診	
	心臓血管外科	澤木完成	伊藤敏明(新患)	所正佳	—	伊藤敏明(新患)/ 加藤隆	
	血管外科	—	佐藤誠洋	永田純一	榊原昌志	—	
	呼吸器外科	(交代)/ 福本盛一	(交代)/ 森正一	(交代)	(交代) (漏斗胸外来あり)	森正一	
	小児外科	谷有希子	村瀬成彦	—	(交代)	—	
	禁煙外来	毎週火曜日(12時30分～14時30分) 舟橋龍秀					
形成外科	今井健登	—	山本周平	—	菱田雅之		
整形外科	新患	武重宏樹	須藤祥人	長谷川寛太	小牧健太郎	高橋裕	
		井上英則	山本英樹	八木秀樹	洪淑貴	井上英則	
		洪淑貴	小牧健太郎	高橋裕	山本英樹	祖父江康司	
	再診	長谷川寛太	大塚純子	祖父江康司	大塚純子	八木秀樹	
		大石遼太郎	—	—	大石遼太郎	須藤祥人	
		—	—	—	武重宏樹	—	
	股関節外来	—	—	大澤郁介 第2・4週	—	—	
	リウマチ外来	—	PM石川尚人	—	—	PM石川尚人	

※担当医は都合により変更になる事がございますのでご了承ください。 2024年10月1日現在

診療科目		月	火	水	木	金
脳神経外科	服部健一	(交代)	波多野寿	(交代)	(交代)	(交代)
		真宮崇	—	久保裕昭	(交代)	藤谷繁
	皮膚科	吉川真人	井上優貴	井上優貴	吉川真人	井上優貴
		磯部里香子	磯部里香子	近藤春菜	磯部里香子	吉川真人
泌尿器科	寺倉里奈	寺倉里奈	寺倉里奈	近藤春菜	近藤春菜	近藤春菜
		小林幹典	平林裕樹 角田夕紀子	百田絢子	松山愛佳	平林裕樹
	加藤真史	松山愛佳	加藤真史	山口朝臣	山口朝臣 百田絢子	山口朝臣
		—	—	—	—	—
産婦人科	新患	安藤智子	廣村勝彦	伊藤由美子	齋藤愛	津田弘之
		AM成田佑一郎 PM真浦広大	AM寺沢直浩 PM福原伸彦	AM坂堂美央子 PM中村南実	AM廣村勝彦 PM近藤友宏	AM中島菜都美 PM近藤友宏
	再診	齋藤愛	安藤智子	—	安藤智子	齋藤愛
		—	(交代)	(交代)	(交代)	(交代)
婦人科	妊婦診	AM養田章 PM森永崇文	AM伊藤由美子 PM林紗由	AM正橋佳樹 PM中村南実	手塚敦子	AM田中梨紗子 PM森永崇文
		AM津田弘之	—	—	—	—
	妊婦初診外来	PM手塚敦子	—	—	—	—
		—	(専門医)	—	(専門医)	—
産科	多胎外来	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
	バースセンター	助産師	助産師	助産師	助産師	助産師
		助産師	助産師	助産師	助産師	助産師
眼科	新患	佐藤英津子	—	佐藤英津子	(交代)	野坂光司
		(交代)	—	(交代)	(交代)	(交代)
	再診	寺田聡広	岩村祥平	柘植勇人 村上優美子 渡邊早紀	降旗敏照	稲垣計
		稲垣計	村上優美子	岩村祥平	稲垣計	降旗敏照
リハビリテーション科	大塚純子	祖父江康司	洪淑貴	井上英則	山本英樹	山本英樹
		山田哲也	山田哲也	山田哲也	山田哲也	山田哲也
	放射線科	岡田徹	岡田徹	岡田徹	岡田徹	岡田徹
		—	—	—	—	—
歯科	新患	大岩伊知郎	長縄憲亮	(交代)	大岩伊知郎	(交代)
		長縄憲亮	大岩伊知郎	—	長縄憲亮	—
	再診	上田整	小野翔矢	—	上田整	—
		小野翔矢	—	—	—	—
緩和ケア科	緩和ケア外来	水曜日	PM河合奈津子	—	—	—
		—	—	—	—	—
	緩和ケア外来	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—

外来診療のご案内

- ◆初診 …………… 総合案内で『診療申込票』に必要事項をご記入の上、保険証・(初めて受診される方) 紹介状・各種医療証書を添えて、新患受付にお出ください。
- ◆診療受付時間 …… 午前8時20分～午前11時 (緊急および予約されている方はこの限りではありません)
- ◆休診日 …………… 土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日～1月3日) 日本赤十字社創立記念日(5月1日)

お問い合わせ先 052-481-5111 (代表)



当院は、病院敷地内全面禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。

休診情報はホームページでご覧いただけます。

https://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/ TOP 》 診療科部門 》 休診情報



日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地
TEL.052-481-5111(代表) FAX.052-482-7733
https://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/

理念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、苦しみと共に一つ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

基本方針

- 1 皆さまが安心できる癒しの森といたします。
- 2 高度・良質で安全な医療をいたします。
- 3 災害救護活動を積極的に行います。
- 4 周産期・小児及び救急医療を充実します。
- 5 医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
- 6 職員の教育・研修を推進します。
- 7 健全経営を維持するように努めます。

臨床研修の理念

医療に必要不可欠な知識や技術など基本的診療能力を習得するとともに、診療に際し患者及び医療スタッフと良好な関係を構築できる人格を涵養し、いかなる状況下でも人間の命と健康、尊厳を守る医師としての社会的役割を理解し実践できる。